

様式2

教科名	社 会
-----	-----

学校名 貫井中学校

○現状分析（生徒の学習状況についての実態および定期考査等を含む学力調査の結果等を踏まえた内容別・観点別の分析表）

学習状況の実態	内容別・観点別結果の分析
<p>前向きに学習している生徒が多い。</p> <p>授業では、資料の読み取りや、その事象がおこった要因・影響等を考えさせる問題解決学習に重きを置いている。他者の考えを取り入れながら、多角的・多面的に考える訓練をしている。</p> <p>自分で考え、表現することに不慣れな生徒もいるが、日々の積み重ねの中でグループ作業を楽しむ声が増えている。</p> <p>発問や問題提起を工夫した授業展開を試み、関心・意欲を揺さぶりながら基本的な知識・理解を育て、自分で表現力することを意識しながら取り組ませたい。</p>	<p>2年生対象の「児童・生徒の学力向上を図るための調査」では、「思考・判断・表現・話す・聞く」、「技能・書く」において、都平均以上の定着がうかがえた。一方で、「知識・理解・言語」が下回った。よりいっそう、知識の定着を図ることにより、必要な情報を整理し判断する力をさらに伸ばすことができるということが分かった。</p> <p>3年生対象に7月に実施した「授業と学習への取組アンケート」では、自身の授業への取組に対し、5段階評価で、平均4.3だった。授業への意欲・関心が高いことがうかがえる。</p> <p>また、「練馬区中学校学力調査」では、基礎力の定着が求められることが分かった。本調査では、社会的事象への関心が目標を下回っていたが、授業に対する高い意欲を生かし、まず基礎力の定着を徹底していく方針が確認できた。</p>

(書式3)

指導方法の課題分析と授業改善策

教科名	社会	教科主任	安西 純子
-----	----	------	-------

1. 指導方法の課題と具体的な授業改善策及び補充指導等の計画

<第1学年>

指導方法の課題の分析	具体的な授業改善策	補充的・発展的な学習指導計画
<ul style="list-style-type: none">・意欲をもって授業に臨んでいる。さらに関心を高め、課題を見いだすことができる力を引き出す。また自ら考え多面的・多角的に表現する力が必要である。・知識を定着させるための工夫が必要である。・資料活用の技術を身に付けさせる必要がある。	<ul style="list-style-type: none">・単元ごとにねらいを定め、学習目標を明確にする。その時間の授業課題に対して関心をもたせる。・個人の活動を生かした学び合いの時間を持ち、生徒同士の理解を深める活動を取り入れる。・授業ごとに資料集、白地図などを利用して資料活用の技術を身に付けさせる。	<ul style="list-style-type: none">・資料集、白地図などを利用し、授業内容の補充を図る。・資料を利用し発展的な内容にも触れる。・時事問題にも積極的に触れ、授業内容の補充及び発展として利用する機会を設ける。・定期的に小テストを行う。

<第2学年>

指導方法の課題の分析	具体的な授業改善策	補充的・発展的な学習指導計画
<ul style="list-style-type: none">・生徒に意欲をもたせ、それを持続させられるよう問題意識を深めていくことができる、分かりやすい授業を行う必要がある。・知識を定着させるための工夫が必要である。・社会的な思考力を身に付ける必要がある。	<ul style="list-style-type: none">・単元ごとにねらいを明確に定めて提示し、学習意欲の向上を図る。・授業の開始時あるいはその折々に既習内容の振り返りを取り入れ、知識の定着を図る。・資料やグラフを提示し、自ら考えさせたり、グループで話し合わせたりする機会を増やす。	<ul style="list-style-type: none">・ワークシート、ワーク、白地図を利用し、授業内容の補充を図る。・資料を利用し発展的な内容にも触れる。時事問題にも積極的に触れ、授業内容の補充及び発展として利用する。・ノートのメモ欄の充実をめざし、定期的に評価していく。

<第3学年>

指導方法の課題の分析	具体的な授業改善策	補充的・発展的な学習指導計画
<ul style="list-style-type: none">・意欲をもって授業に臨んでいて知識の定着の向上がうかがえる。さらに関心を深め、課題を見いだすことができる力を引き出していく。・自ら考え、多面的・多角的に考えたことを表現する力が必要である。・自ら判断する力を付けるための指導が必要である。	<ul style="list-style-type: none">・単元ごとにねらいを定め、学習目標を明確にする。ICTを取り入れ、興味・関心を高める。・学び合いの時間を持ち、生徒同士の理解を深める活動を取り入れる。・社会的事象を様々な資料から読み取らせることで、自ら考え判断する力を養う。・グループ活動を通して自分の思考を表現する訓練を行う。	<ul style="list-style-type: none">・基礎的な知識や学習内容の整理のために、ワークや資料を活用する。・新聞記事や時事問題も提示しながら、自発的に探究していくことができるように配慮する。・定期的に小テストを行う。